

# 一度きりのキャンパス ライフを楽しむために

発達栄養学科 平成31年卒(10期生)  
今宮 康太郎



昨年度より、相愛大学の実験実習助手として勤務しております。主に、給食経営管理実習、調理学実習Bの授業を担当しております。

私は、相愛大学を卒業後、厨房で働くことを楽しみに委託給食会社に勤務しました。しかし、職場の雰囲気と仕事内容に違和感を感じ悩んでいました。そんな私に恩師である相愛大学の先生が声をかけてくださり相愛大学の実験実習助手として働かせていただくことになりました。まさか私が母校である相愛大学で働くことになるなんて夢にも思っていませんでした。私が相愛大学の助手になったという事は少なからず何か意味のあることだと思っております。

す。私自身はこのご縁に日々感謝をしております。

私が助手という立場になって在籍生、もしくはこれから大学生活を送る高校生たちに伝えたいことは一度きりのキャンパスライフを精一杯楽しんでほしいということです。当然ですが、世の中には勉強したくてもできない人や、栄養士、管理栄養士の免許が欲しいくても大学に通えない、大学生になりたくてもなれない人もいます。今、大学に通学できている、授業を受けることができている、同じ志を持って友人と毎日過ごすことができるという幸せを日々感じてキャンパスライフを送ってほしいと思います。また、私は日々を支えてく

れる家族や先生、先輩方への感謝を忘れません。在学時代、家族は毎日私のことを思い、学校に通うための環境を作ってくれました。先生は授業以外にも国家試験に受かるためのプランを考え、アドバイスをくれました。今から思えば当たり前のように当たり前ではない日々のサポートに感謝しかありません。その気持ちの後輩たちへ伝えていきたいと思えます。悩みがある学生には寄り添い、先生方よりも年齢が近い分、橋渡し役になれたらと思います。助手として担当している授業は前職の経験を活かすことができたり、「今まで経験したことは無駄ではなかった」とこの恵まれた環境にも感謝しています。

に学ぶことができ、座学だけでは学べないことだと思えます。このような大学での経験が、保育士としての仕事につながっています。

## 活躍する卒業生たち

### 「聴く」を心掛け、 つながりを大切にしたい

子ども発達学科 平成27年卒(6期生)  
森内 友梨恵



私は大阪市大正区にある大阪市立北恩加島保育所に勤務しています。大阪市より運営業務委託を受けている公設民営の保育所です。この保育所で働き始めて8年目を迎え、昨年度からは主任として働いています。

日々仕事に取り組む中でクラス運営の難しさ、専門職としての子どもの命を預かるという責任感に、悩んだこともあります。「なりたかった保育士のはずなのに...」。私には向いていないのかな」と悩み、大学の先生に相談に行きました。そんな時に学生時代と変わらず、先生方が温かく迎えてくださり、悩みを聴いていただき、「よく頑張ったね」と思いを受け止めてもらい、

心に何か引っかかっていたものがスッとなくなつたように感じました。そして、子ども発達学科を卒業した友人たちも大きな支えになっています。学生時代から仲が良く、卒業してからよく集まり、近況を報告しあいながら励ましてくれました。このように、今の私があると感じています。

大学で学んだことを振り返ると、すぐに保育現場で生かせる指導案や手遊びなどがたくさんあり、日々の保育に取り入れて子どもたちと楽しく活動しています。また、オンラインキャンパスやイベントなどの学生スタッフとして参加しました。この経験は実践的

に学ぶことができ、座学だけでは学べないことだと思えます。このような大学での経験が、保育士としての仕事につながっています。

私が普段から大切にしていることは、「聴く」ということです。これは、一人一人丁寧に向き合い、子どもの思いに耳を傾け、それに共感し、寄り添うことです。そして、子どもだけでなく、保護者や保育所に勤務する職員の話も「聴く」ことも心がけています。私が話を聴いてももらって前を向けたように、私自身も人との「つながり」を大切にしながら、子どもたちと過ごす一日一日を大切にしていきたいと思えます。

## 関東支部

新型コロナウイルス感染拡大の不安の中、新しい年が始まりました。会員の皆様におかれましては何かお過ごしでしょうか。

2年続けて同窓会が中止となり、思うように活動ができませんでしたが、この間に住所不明で連絡不可の方が5名、そしてお亡くなりになられた方が5名いらっしゃいました。その中には令和元年まで活躍いただいた前関東支部長様も含まれており、幹事一同悲しく、寂しい思いでいっぱいしております。

支部長 天貝 千代美



## 同窓会活動が再開できることを祈って

定し、中止することとなりました。まだまだマスクを手放せない生活が続きますが、以前のように同窓会活動が再開できますよう祈っております。

## 東海支部

今年も昨年に続き総会は中止に致しました。コロナ終息にはまだまだ時間がかかるようですが、ウィズコロナですね。

東京オリンピックも無事に終わり、今は感染者も減少しつつ、また28回目の総会もどのような状況になるのか分からず皆様には大変申し訳ありません(25回目から2年

になります。26、27回目はお休みです)。早くコロナ禍でも総会が開催出来るように考えて参りたいと思います。

支部長 星野 滋子

## 同窓会総会 集える日を願って

## 京都支部

高齢者は外に出歩く事を恐れ、必要不可欠な場合を除き家の中でこまごまとした片付けや物作り、読書のほか、テレビの鑑賞がほとんどではないでしょうか？

友だちとのお茶を飲む事もはばかられる日が長く続き、やっとコロナも罹患者が減る状況になりやれ嬉しいと思ったのも束の間、また変異株が出て来て若者たちの間

に広がっております。いつになつたら皆様方とお逢いして得意のしゃべりに花を咲かせる日が来るのやら！ その間自分の寿命が尽きてしまふのではないかと気が気でない毎日を送る次第となっております。

小さな庭に春先の花の苗を買って来て植えたり、植木鉢の買い替えに汗を流したり手の平の上で動

き回っている生活に近ごろは馴染んできました。体を充分に動かして出かける日が早く訪れるよう願ってやみません。どうぞ皆様も御自愛くださいまして、元気な顔を総会が開催できました折には拝見出来ますよう節に希望致しております。ふるって御参加いただきますようお願い申し上げます。

支部長 竹原 和